

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
現代文B		3		現代文B	第一学習社	
教科担当者名						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		科目現代文Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	○評論「未来世代への責任」 ○評論「いのちのかたち」		<ul style="list-style-type: none"> ・評論では、文章の構成や展開に注目し、筆者の主張を読み取ることを通じて広い見識を養う。 ・副教材を活用し、語彙力をつける指導を継続的に行う。小テストを繰り返し行い定着をはかる。 ・副教材を活用し、自分の考えを書いたり、話したり、他者の考えを聞いたりする表現力を身につけさせるとともに、小論文や要約指導を適宜行う。 		
	5	○「ことのは」				
	6					
	7					
2 学期	9	○小説「舞姫」 ○「ことのは」		<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情の揺れに注目するとともに、自我の覚醒と絡め、小説を自分と関連させて読む態度を養う ・様々な問題を抱えていた明治の日本の中での主人公の生き方を考え、国家と個人の関係、すなわち〈公〉と〈私〉の問題を考えさせる。 ・副教材を活用し、語彙力をつける指導を継続的に行う。小テストを繰り返し行い定着をはかる。 ・副教材を活用し、文学史等の知識を身につけさせる。 ・副教材を活用し、自分の考えを書いたり、話したり、他者の考えを聞いたりする表現力を身につけさせるとともに、小論文や要約指導を適宜行う。 		
	10					
	11					
	12					
3 学期	1					
	2					
	3					
評価の観点	次の①～④を総合的に評価する。 ①授業への取り組み ②小テスト ③提出物 ④定期考査					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
現代文演習		2	70	現代文総演習	いいずな書店	
教科担当者名						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		現代文演習の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (現代文の受験勉強について) ・問題演習。 副教材「現代文 総演習 標準編」(いいずな書店) ・大学入試過去問演習 ・センター演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容説明 ・現代文の受験勉強について理解させる。 ・評論・随想の問題演習と解説。 川本三郎、高田保、陣内英信、木本元、河合隼雄ほか ・現代文読解の着眼点や、テーマに関する考え方や基礎知識を理解する。 ・私立大学の入試問題過去問に取り組み、夏休みの学習に向けた自身の課題を見つける。 		26	
	5					
	6					
	7					
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習。 副教材「現代文 総演習 標準編」(いいずな書店) ・大学入試過去問演習 ・大学入試センター試験対策演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の問題演習と解説。 鷲田清一、長谷川宏、内田樹、山崎正和 ほか ・現代文読解の着眼点や、テーマに関する考え方や基礎知識を理解する。 ・私立大学の入試問題過去問に取り組み、演習を通じて実践力を身につける。 ・大学入試センター試験の過去問に挑戦し、センター試験の国語の問題や出題方法の特徴、解答の根拠の見つけ方を理解する。 ・随想・小説については、課題学習を行う。 		26	
	10					
	11					
	12					
3 学期	1					
	2					
	3					
評価の観点	授業への取り組み、提出物、確認テストを総合的に判断し評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
古典		2	70	古典文学選 古典A	第一学習社	
教科担当者名						
学 期	月	進捗予定及び実施内容		備 考		
		単元	節、項目など	留意点など		
	指導内容 【年間授業計画】		科目古典の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学 期	4					24
	5	既習の古典文法の復習 助動詞・助詞・敬語の学習		<ul style="list-style-type: none"> ・5月に動詞の復習を行い、基礎を固める。 ・助動詞・形容詞・形容動詞・敬語をはじめとした古典文法等の知識を固め、一般受験に対応し得る力を身に付ける。 		
	6	中古文学の習熟		<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』『大鏡』を教材に1, 2年次で扱わなかったものを学ぶ。 		
	7					
2 学 期	9					28
	10	過去問演習		<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に学んだ古典文法を、どのようにして読解の中で活用するのかを学ぶ。 		
	11	漢文・古文の総まとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・過去問演習に取り組み、定着できていない古典文法や古文単語を把握し、定着を図る。 		
	12					
3 学 期	1					
	2					
	3					
評価 の 観 点	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト 以上の成績・内容を総合的に判断して評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
国語表現		2	70	国語表現	大修館書店
教科担当者名					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
	指導内容 【年間授業計画】		国語表現の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	1、書いて伝える ・整った文を書く		仮名遣いや漢字などの基礎知識を身につける。 適切な語句、表現で整った文章を書く力をつける。	
	5	・わかりやすい文を書く ・文のつながり方		筋道を立てて意見を述べる論理的な文章の書き方を身につける。	
	6	3、自己PRと面接 ・自己PR文を書く		自分を客観的にとらえ、アピールする力をつける。	
	7	・志望動機をまとめる		各自の進路希望に沿って情報を収集し、志望動機を文章にまとめる。	
2 学期	9	9、会話・議論・発表 1、相手や場面に応じた会話		ディベートや広告PR文の作成を通して効果的なプレゼンテーションの方法を知る。	
	10	2、建設的な議論の進め方		新聞学習を中心に、今を知ること、自己の将来の目標との関連性に気付かせる。	
	11	3、プレゼンテーションの工夫		正しい敬語を身につける。	
	12				
3 学期	1				
	2				
	3				
評価 の観点	授業への取り組み、提出物、確認テストを総合的に判断し評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所		
教養国語		2	70	ブレゼミ総合国語	浜島書店		
教科担当者名							
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考			
		単元	節、項目など	留意点など			
		指導内容 【年間授業計画】		科目「教養国語」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	基本編 第1回～第8回 社会、環境、日本語、経済、社会、 環境、日本語、政治 必修編 第1回～第4回 文学史、社会、文学史、環境		・「演習→採点→覚え直し」のサイクルを繰り返し行ったのち、 小テストや演習を通して漢字・語彙の力の向上を図る。 ・文学史等の一般常識を養う。			26
	5						
	6						
	7						
2 学期	9	必修編 第5回～第8回 文学史、社会、文学史、文学史 完成編 第1回～第8回 思想、日本語、経済、読書、文学、憲法 哲学、四字熟語		・「演習→採点→覚え直し」のサイクルを繰り返し行ったのち、 小テストや演習を通して漢字・語彙の力の向上を図る。 ・文学史等の一般常識を養う。		26	
	10						
	11						
	12						
3 学期	1	語彙プリント学習		・「演習→採点→覚え直し」のサイクルを繰り返し行ったのち、 小テストや演習を通して漢字・語彙の力の向上を図る。			
	2						
	3						
評価 観点	定期考査、授業への取り組み、小テスト、提出物を総合的に判断し評価する。						

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
日本史B		4	4	詳説日本史B	山川出版社	
教科担当者名						
菅原・湯淺						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4			江戸時代の政治・経済・文化の特徴について理解させる。 倒幕から近代国家成立の過程を理解させる。また、明治時代に入り我が国に立憲政治体制が形成される過程と、その後の日清・日露戦争と資本主義の成立について理解をさせる。		
	5					
	6	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 第4章 近代国家の形成と国民文化の発展				
	7	1 開国から明治維新へ 2 立憲政治の形成と国民文化				
2 学期	9	3 日本の近代化と東アジア		第一次世界大戦とその後の国際協調体制の中で日本がどのような位置を占めたか理解させる。また国内政治においては、大正デモクラシーにより政党政治が実現した流れについて理解させる。		56
		4 デモクラシーと市民文化				
	10	4 デモクラシーと市民文化		国際協調体制の中で日本がどのような位置を占めたか、また政党政治が実現した流れについて理解させる。 昭和初期の国際社会と日本との関係を理解させ、日中戦争・太平洋戦争へと至る流れを理解させる。		
		5 激動する世界と日本				
	11	第5章 現代の世界と日本		敗戦から復興し国際社会に復帰する過程、復興から60年代の高度経済成長を経ての国民生活の変化を理解させる。また70年代以降の低成長時代から80年代のバブル経済に至る過程を理解する。		
1 占領と国内改革						
12	2 国際社会への復帰と高度経済成長 3 石油危機と低成長時代					
3 学期	1	4 新しい国際秩序と日本の課題		バブル崩壊や東西冷戦の終結といった大きな歴史の流れの中で、我が国がどのように歩んできたかを理解させる。		4
	2					
	3					
評価 の観点	定期考査(年5回)の結果及び授業の様子や提出物の状況から総合的に判断して評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
政治・経済		3	105	最新 政治・経済 新訂版	実教出版
教科担当者名					
吉田 史弘 橋本 雄高					
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「政治・経済」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	現代の政治		<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則がどのように歴史的に発達してきたかを理解させる ・日本国憲法の成立の意義について考えさせる ・人権の中心をなす自由権の内容と保障に関する日本国憲法の規定について理解させる ・社会権の意義について考察させるとともに日本国憲法で保障された内容について整理確認させる 	39
	5	現代の政治			
	6	1 民主政治の基本原則			
	7	2 日本国憲法の基本原則 ・日本国憲法の成立 ・基本的人権の保障			
2 学期	9	3 日本の政治機構（国会・内閣・裁判所）		<ul style="list-style-type: none"> ・日本の三権分立の内容、特徴について理解する ・戦後政治の各時代の特徴を整理し、21世紀の政治課題について考えさせる ・国際法や国連の役割を考えさせ、国際政治の諸課題について考察させる ・経済社会の発達過程を確認させ、資本主義経済の一般的特徴について理解させる ・市場機構、経済成長、金融、財政についての学習を通じて現代の経済のしくみを理解させる ・貿易、外国為替、国際収支の仕組みを理解し、経済のグローバル化の意味を考察させる 	39
	10	4 現代日本の政治			
	11	5 現代の国際政治			
	12	現代の経済			
	1	1 経済社会の変容			
3 学期	2	2 現代経済のしくみ		<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2学期に政治、経済について学習したことを活用して、日本や世界が直面する格差、雇用、環境等をめぐる課題について考察させる 	3
	3	3 現代経済と福祉の向上			
	4	4 世界経済と日本			
評価 の観点	定期考査、提出物、出席状況で総合的に評価する				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
自選世界史		2	60	詳説日本史B	山川出版社	
教科担当者名						
多田						
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4					
	5					
	6	日本文化のあけぼの		・日本列島における旧石器文化、縄文文化の成立を種々の影響に着目してとらえさせる。		
	7	古墳とヤマト政権 律令国家の形成		古墳の形状などからヤマト政権と各地の政治勢力の関係を考察させる。 天智朝、天武朝、持統朝の政治動向に着目して律令国家について理解させる。		
2 学期	9	平城京の時代 貴族政治と国風文化		平城京における律令体制の整備について、地方社会とのかかわりを踏まえて理解させる。 藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容について考察させる。		28
	10	摂関政治と国風文化		国際関係の変化や遣唐使の中止などを踏まえて、国風文化の成立について理解させる。		
	11	中世社会の成立		武士の反乱や成長などから、中世社会の萌芽について考察させる。		
	12	武士の社会		源平争乱から幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立について考察させる。		
3 学期	1	武家社会の成長		鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立や、室町時代の社会について理解させる。		2
	2					
	3					
評価 の観点	試験、出席状況、授業への取り組み、提出物を総合的に判断して評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所		
教養社会β		2	70	最新政治・経済 新訂版	実教出版		
教科担当者名							
橋本(雄)							
学期	月	進度予定及び実施内容		備考			
		単元	節、項目など	留意点など			
		指導内容 【年間授業計画】		科目「教養社会β」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	時事問題研究 既習事項の復習 現代社会の諸課題 ・地球環境問題 環境保全への国際的な取り組み ・地球環境と資源・エネルギー問題 資源・エネルギー問題の現状 原子力発電とその課題 ・人種、民族問題 ・生命倫理に関する問題		・今まさに起きている時事的問題を取り上げ、議論を通じて政治、経済、社会問題に関する理解を深めるとともに、興味を喚起する。 ・一般常識を含む社会科領域に関する既習事項の確認			24
	5						
	6						
	7						
2 学期	9	時事問題研究 既習事項の復習 ・日本国憲法に関する問題 憲法改正問題 ・司法と市民生活に関する問題 司法への国民参加、少年法 ・日本の外交問題 ・日本の財政に関する問題 ・人口問題 人口問題と社会保障制度		・今まさに起きている時事的問題を取り上げ、議論を通じて政治、経済、社会問題に関する理解を深めるとともに、興味を喚起する。 ・一般常識を含む社会科領域に関する既習事項の確認		28	
	10						
	11						
	12						
3 学期	1						
	2						
	3						
評価 の観点	試験、出席状況、授業への取り組み、提出物を総合的に判断して評価する。						

科目名	年間時間数	教科書名	発行所	
数学演習	70	新編 数学 I	数研出版	
指導内容 【年間授業計画】	センター数学の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	授業において把握した目標到達度 考査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度	
4月	1. 式の計算 (1)	指数法則・展開・因数分解の公式について、理解できるようにする。	教科書 問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	2. 式の計算 (2)			
5月	3. 1次不等式の解法	不等式の性質・1次不等式の解法・連立不等式の解法・絶対値を含む方程式・不等式について理解できるようにする。	教科書 問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	4. 集合	集合の包含関係・共通部分と和集合・補集合について、理解できるようにする。		
6月	5. 命題と論証	命題の真偽・条件の否定・必要条件、十分条件、逆・裏・対偶について理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	6. 2次関数	2次関数のグラフ・平行移動・対称移動・2次関数の決定について理解できるようにする。		
	7. 2次関数の最大・最小	2次関数の最大・最小、関数の最大・最小、条件式のある最大・最小について理解できるようにする。		
	8. 2次方程式、2次不等式	2次方程式の実数解、2次不等式の解について理解できるようにする。		
7月	9. 2次関数の種々の問題	2次関数の決定、2次関数のグラフとx軸の位置関係、2次関数の解の存在範囲について理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
9月	10. 三角比の基本	$90^\circ \pm \alpha, 180^\circ - \theta$ の三角比・三角比の相互関係・直線の傾きと正接について、理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	11. 三角比と図形 (1)	正弦定理・余弦定理・三角形の辺と角の関係について理解できるようにする。		
	12. 三角比と図形 (2)	三角形の辺と角・三角形の面積・三角形の内接円と面積について理解できるようにする。		
10月	13. 三角比と図形 (3)	円に内接する四角形・空間図形と三角比について理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	14. データの分析 (1)	データの代表値・データの散らばりと四分位数について理解できるようにする。		
	15. データの分析 (2)	分散と標準偏差・分散と平均値の関係について理解できるようにする。		
11月	16. データの分析 (3)	データの相関・相関係数について、理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
	17. 場合の数・順列 (1)	集合の要素の個数・場合の数の数え方・和の法則・積の法則・順列について理解できるようにする。		
	18. 順列 (2) ・組み合わせ	円順列、重複順列、組合せ、同じものを含む順列について理解できるようにする。		
12月	19. 確率 (1)	確率の定義、確率の基本性質について理解できるようにする。	問題集「ニューステージ」 (数研出版)	問題集の演習・1,2年の教科書の復習
1月				
2月				
3月				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
数学Ⅲ		6	162	新編 数学Ⅲ	数研出版	
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
	指導内容 【年間授業計画】		科目数学Ⅲの具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の極形式・ドモアブルの定理 放物線・楕円・双曲線・2次曲線の平行移動 2次曲線と直線・極座標と極方程式 		<ul style="list-style-type: none"> 複素数を極形式に変形できるようにする。ドモアブルの定理を用いて、計算問題を解く。複素数が表す図形を理解する。 放物線、楕円、双曲線について、グラフを描き、必要事項の計算ができるようにする。 2次曲線の平行移動が計算で求められるようにする。 媒介変数表示、極座標と極方程式についても、計算問題を反復し、求められるようにする。 		66
	5	<ul style="list-style-type: none"> 分数関数・無理関数 逆関数と合成関数 数列の極限・無限等比数列 無限級数 		<ul style="list-style-type: none"> 分数関数、無理関数について、グラフと漸近線を描けるようにする。 逆関数、合成関数を求められるようにする。 無限数列の極限、無限級数について、計算問題を反復し、求められるようにする 		
	6	<ul style="list-style-type: none"> 関数の極限 三角関数と極限・関数の連続性 微分係数と導関数・導関数の計算 いろいろな関数の導関数 		<ul style="list-style-type: none"> 極限値の計算を繰り返し行い、求められるようにする。 三角関数についての復習行い、求められるようにする。 導関数の基礎計算を行い、求められるようにする。 いろいろな関数の導関数を計算を行い、求められるようにする。 		
	7	<ul style="list-style-type: none"> 第n次導関数 曲線の方程式と導関数・接線の方程式 平均値の定理 		<ul style="list-style-type: none"> 第n次関数についても、上記と同様である。 曲線の方程式を、媒介変数表示でも理解できるようにする 微分係数を用いて、接線の方程式を求められるようにする。 平均値の定理を活用して、問題を行い、求められるようにする。 		
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 関数の値の変化・関数のグラフ 方程式、不等式への応用・速度と加速度 近似式・不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 		<ul style="list-style-type: none"> 増減表を描けるようにする。増減表とグラフから、方程式と不等式を解けるようにする。速度、加速度および近似式について、計算問題を反復し、求められるようにする。不定積分の基礎計算を行い、求められるようにする。置換積分に関して、計算問題を反復し、求められるようにする。部分積分に関して、計算問題を反復し、求められるようにする。 		92
	10	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の不定積分 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題 面積 体積 		<ul style="list-style-type: none"> いろいろな関数の不定積分を行う。定積分の基礎計算を行う。置換積分に関して、計算問題を反復する。部分積分に関して、計算問題を反復する。いろいろな定積分について、計算する。面積、体積について学習する。 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> 道のり・曲線の長さ 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題について学習し求められるようにする。複素数平面について、基礎事項を確認し、複素数平面に座標をかけるようにする。複素数を極形式に変形できるようにする。 ドモアブルの定理を用いて、計算問題を解けるようにする。 		
	12	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題について学習する。 		
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 入試問題 		<ul style="list-style-type: none"> 様々な入試問題について学習する。 		4
	2	授業なし				
	3	授業なし				
評価 の観点	各単元の基礎・基本が身についているか。 定理、公式を使い、数学的な考え方に基づいて問題を解くことができるか。 応用問題、入試レベルの問題について取り組み、考えることができるか。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
就職数学		2	56	新編 数学 I	数研出版	
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
	指導内容 【年間授業計画】		科目「就職数学」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	・分数の計算・小数の計算		分数の計算を思い出す。小数の計算を思い出す。		22
	5	・四則の混合算・パーセントの計算・十の位と一の位の数の計算・比の計算・割合の計算・推論-順序関係		四則計算ができる。割合をパーセンテージをだせる。文章代を読み取ることができる。比の計算ができる。割合から値を計算できる。条件から順序をだせるようになる。		
	6	・推論-正誤の判断・時間の範囲・電車の発車時刻・料金計算・損益算・平均の計算・速さ・時間・距離・流水算		条件から正誤を判断できる。時間の範囲を求めることができる。電車の発車時刻の計算ができる。料金の計算ができる。文章から損益を計算できる。平均値を求めることができる。速さ・時間・距離の関係から値を求めることができる。流水算ができる。		
	7	・通過算・仕事算・年齢算・濃度算・連立方程式・集合		通過算を理解する。仕事算を理解する。年齢算により値を求めることができる。濃度の計算ができる。連立方程式を思い出す。集合の要素、個数を答えることができる。		
2 学期	9	・順列・表の読み取り・組み合わせ・確率・数の計算・整式の計算・乗法公式		表から値を読み取れる。順列の計算ができる。組み合わせの計算ができる。確率を求めることができる。数の計算ができる。整式の計算ができる。乗法公式を使うことができる。		32
	10	・因数分解・整式の割り算・分数式の計算・無理数の計算・方程式・連立方程式		因数分解ができる。整式の割り算ができる。分数式の計算ができる。無理数の計算ができる。方程式の解を求めることができる。連立方程式の解を求めることができる。		
	11	・不等式・2次関数のグラフ・図形と計量・面積・体積・図形総合・個数の処理・直線、円		不等式の解を求めることができる。2次関数のグラフをかける。三角比がわかる。面積、体積を求めることができる。図形の総合問題がわかる。個数を求めることができる。直線と円の方程式を理解できる。		
	12	・指数・対数・数列		指数の計算ができる。対数を理解できる。数列の項を求めることができる。		
3 学期	1	・応用問題		応用問題に取り組むことができる。		2
	2					
	3					
評価 の観点	課題に真剣に取り組もうとしているか。問題の内容を理解し、数学的な考え方で正確に解決することができるか。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
医療系数学		2	70	新編 数学 I	数研出版	
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	看護専門学校・看護大学 入試過去問題		入試は時間制限があるので、短時間で正答を得るための技法についても考える。		
	5	(テスト形式)の演習と解説				
	6					
	7					
2 学期	9	看護専門学校・看護大学 入試過去問題		入試は時間制限があるので、短時間で正答を得るための技法についても考えるだけでなく、進学後、就職後にも役立つように、他者に説明(考え方、過程等)し、理解してもらえるようにする。		30
	10	(テスト形式)の演習と解説				
	11					
	12					
3 学期	1	看護専門学校・看護大学 入試過去問題		入試は時間制限があるので、短時間で正答を得るための技法についても考えるだけでなく、進学後、就職後にも役立つように、他者に説明(考え方、過程等)し、理解してもらえるようにする。		10
	2	(テスト形式)の演習と解説				
	3					
評価 の観点	演習時間を豊富にとり、実際に問題を解く中で、他者に説明することにより理解を深めることを目指す。各考査の素点だけでなく、誤答整理も評価の対象とする。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
教養数学		2	70	新編 数学 I	数研出版
学期	月	進捗予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	数学 I・数学A問題全般の演習 百マス計算 SPI演習	問題集を利用しての演習 基礎計算力をつけるために、毎時間百マス計算を行う 就職試験対策として、SPI問題から宿題を課す	30	
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	数学 I・数学A問題全般の演習 百マス計算 SPI演習	問題集を利用しての演習 基礎計算力をつけるために、毎時間百マス計算を行う 就職試験対策として、SPI問題から宿題を課す 他者に説明することにより、理解を深める	30	
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	数学 I・数学A問題全般の演習 百マス計算 SPI演習	問題集を利用しての演習 基礎計算力をつけるために、毎時間百マス計算を行う 就職試験対策として、SPI問題から宿題を課す 他者に説明することにより、理解を深める	10	
	2				
	3				
評価 の観点	演習時間を豊富にとり、実際に問題を解く中で、他者に説明することにより理解を深めることを目指す。各考査の素点だけでなく、出席状況も加味する。				

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
物理		4	140	総合物理1・2	啓林館
教科担当者名					
大町 岳					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	波動 ＜波の性質＞ 正弦波と波の要素 縦波と横波 波のエネルギー 波の重ね合わせの原理 波の反射と屈折 波の干渉 ホイヘンスの原理		<ul style="list-style-type: none"> ・波の性質と種類について説明できる ・重ねあわせの原理について理解できる ・波の干渉について理解できる ・共振と固有振動について説明できる ・ドップラー効果について説明できる ・光の干渉について理解できる 	52
	5	＜音波＞ 音の3要素・共振共鳴 物体の固有振動と音 ドップラー効果			
	6	＜光＞ 光のスペクトル 光の回折と干渉			
	7				
2 学期	9	運動とエネルギー ＜平面運動と剛体のつりあい＞ ＜運動量＞ ＜円運動＞ ＜気体の性質と分子の運動＞		<ul style="list-style-type: none"> ・平面の運動について説明できる ・モーメントと、重心について説明できる ・円運動の性質について理解できる ・気体の性質と分子の運動を力学的に理解できる 	52
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	電気と磁気 ＜電場と電位＞ ＜電流＞ ＜電流と磁場＞ ＜電磁誘導と交流＞		<ul style="list-style-type: none"> ・電場と電位について理解できる ・電流について理解できる ・電流と磁場の関係について理解できる ・電磁誘導と交流について説明できる 	36
	2				
	3				
評価 の観点	各期末考査の得点及び、平常点により総合的に評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所		
化学実験【化学基礎】		2	70				
教科担当者名							
学期	月	進度予定及び実施内容		備考			
		単元	節、項目など	留意点など			
		指導内容 【年間授業計画】		科目化学実験の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 化学実験の基本操作 安全に実験を行うために 実験レポートの書き方 		<ul style="list-style-type: none"> 化学実験にあたって、正しい態度や姿勢で行うことができる。 正しい日本語を利用したレポートを作成することができる。 			30
	5	<ul style="list-style-type: none"> 無機物質の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 周期表と元素の性質の関係を答えることができる。 			
	6	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の利用、高分子化合物 		<ul style="list-style-type: none"> アルコールの酸化反応について構造との関係を答えることができる。 プラスチックを合成することができる。 			
	7	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応 		<ul style="list-style-type: none"> イオン化傾向と金属の反応性の関係について答えることができる。 			
2 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> 分子量測定 化学反応の量的関係 測定値と有効数字 実験データの取り扱い方、科学者の倫理 		<ul style="list-style-type: none"> 分子量を実験で測定することができる。 実験データを正しく取り扱うことができる。 		32	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 容量分析の基礎 中和反応の量的関係 逆滴定、二段階滴定 		<ul style="list-style-type: none"> 滴定で用いる器具の名称や操作を答えることができる。 食酢中の酢酸の濃度を求めることができる。 			
	11	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の量的関係 溶解度積 沈殿滴定(モール法、フォルハルト法) 		<ul style="list-style-type: none"> オキシドール中の過酸化水素の濃度を求めることができる。 海水中の塩化物イオンの濃度を求めることができる。 			
	12	<ul style="list-style-type: none"> キレート滴定 		<ul style="list-style-type: none"> EDTAを用いたキレート滴定ができる。 			
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 化学が拓く世界 科学者の倫理 課題研究 		<ul style="list-style-type: none"> 各自で研究テーマを設定し、探究することができる。 科学者としての正しい行動規範を知り、生涯にわたって科学と正しく付き合っていくことができる。 		8	
	2						
	3						
評価 の観点	①授業への出席や実験への取り組み ②提出物 ③テスト 以上の成績・内容を総合的に判断して評価する。						

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
生物基礎		2	60	新編 生物基礎	東京書籍
教科担当者名					
飛松 久美子					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4				
	5	ア 植生の多様性と生態系 (ア) 植生と遷移 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解すること。 (イ) 気候とバイオーム 気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解すること。		・陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。 ・植生の変化に伴い、環境も変化していくことを知る。 ・バイオームの意味を知る。 ・生態系は生物と非生物的環境からなること、その中で炭素や窒素などの物質が循環していることを知る。	
	6	(ウ) 生態系と物質循環 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解すること。 (エ) 生態系のバランスと保全 生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識すること。		・生態系は常に変動しているが変動の幅は一定の範囲内に保たれていることを知る。 ・人間の活動によって生態系が攪(かく)乱された例を挙げることができる。	
	7	ア 生物の特徴 (ア) 生物の共通性と多様性 生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解すること。 (イ) 細胞とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解すること。		・生物の体は細胞でできていることを確認する。 ・さまざまな環境で多様な生物がいることを知る。 ・生物を学習する上での重要な視点として、地球上の生物には多様性と共通性がみられることを知る。・生命活動で具体的にどのようなことが行われているか答えられる。 ・生物がどのような物質で構成されているのか答えられる。 ・水が生物にとってなぜ重要なのか答えられる。 ・エネルギーの受け渡しをATPという物質が行っていること	
2 学期	9	イ 遺伝子とその働き (ア) 遺伝情報とDNA 遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解すること。		・遺伝子の本体がDNAであること、DNAは二重らせん構造であることを知る。・DNAの構成物質、DNAを構成する塩基はアデニン、チミン、シトシン、グアニンの4種類があると答えられる。 ・DNAの構造上の特徴で、相補性があると答えられる ・ゲノムとは何かを知る。 ・遺伝子とゲノムの関係を知る	
	10	(イ) 遺伝情報の分配 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解すること。		・染色体に遺伝子があると知る。 ・染色体には種類があることを知る。 ・遺伝子の本体がDNAであることがわかった実験を知る。 ・細胞分裂と遺伝子の関係を知る。 ・体細胞分裂の各細胞の時期を答えられる。 ・細胞周期とは何かを知る。	
	11	(ウ) 遺伝情報とタンパク質の合成 DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解すること。		・体細胞分裂での染色体数は母細胞と娘細胞とでは変わらないことを知る。 ・細胞周期の間期と分裂期で起こることを答えられる。 ・DNAは正確に複製されると知る。 ・DNAの複製法は半保存的複製と呼ばれていると知る。	
	12	ア 生物の体内環境とその維持 (ア) 体内環境 体内環境が保たれていることを理解すること。 (イ) 体内環境の維持の仕組み 体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解すること。		・体の水分は細胞外液と細胞内液とある、体液には血液・リンパ液・組織液があることを知る。・体液が体内環境であることを知る。・体内環境を維持するために、肝臓や腎臓が重要であることを知る。 ・尿の生成が、ろ過、再吸収で行われていると知る。 ・浸透圧の調節を尿の生成によって行われていると知る。	
3 学期	1	(ウ) 免疫 免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解すること。		・免疫反応は細胞の働きによる生体防御であることを知る。 ・ワクチンの接種は免疫を利用した予防法であることを知る。 ・アレルギーやエイズは免疫機能の異常で起こる疾患であることを知る。	
	2				
	3				
評価 の観点	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト 以上の成績・内容を総合的に判断して評価する。				8

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
生物		4	120	改訂版 生物	数研出版
教科担当者名					
飛松 久美子					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性(第1章、第11章) エネルギーと代謝(第2章) 遺伝情報とDNA(第3章) 遺伝情報の発現(第3章) 免疫(第1章) 	科目「生物」の学習項目の基礎となる1年次に学習した「生物基礎」の単元の復習と基礎知識の確認を行う。 ※自宅学習期間中の課題により行い、提出で確認する。	52	
	5	第1章 細胞と分子 1. 生体物質と細胞 2. 細胞膜を介した物質の移動 3. 生命現象とタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> 細胞や生体膜の構造、構成する物質の特徴を知る。細胞膜を介した物質輸送と情報伝達のしくみをいえる。 細胞骨格の構造と機能を知る。 タンパク質の立体構造を知る。酵素反応の特徴をいえる。 		
	6	第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー代謝 2. 同化 3. 窒素同化 4. 異化 第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の発現調節	<ul style="list-style-type: none"> 光合成の生化学的過程を知る。光合成細菌と化学合成細菌を知る。動物・植物の窒素同化を知る。 発酵の過程を知る。呼吸の過程について知る。 DNAの半保存的複製について理解を深める。 岡崎フラグメントについて知る。 		
	7	3. バイオテクノロジー 第4章 有性生殖 1. 減数分裂と受精 2. 遺伝子と染色体	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子組換えのしくみについて知る。 バイオテクノロジーの応用と課題について知る。 無性生殖と有性生殖を知る。 連鎖と組換えについて知る。 染色体地図について知る。 		
2 学期	9	第5章 動物の発生 1. 配偶子形成と受精 2. 初期発生の過程 3. 細胞の分化と形態形成 4. 器官の形成と細胞の死	<ul style="list-style-type: none"> 配偶子の形成と受精の過程について知る。 卵割の特徴について知る。 ウニとカエルの初期発生について知る。 胚の区画化と調節遺伝子の働きについて知る。 プログラム細胞死、幹細胞について知る。 		
	10	第6章 植物の発生 1. 配偶子形成と胚発生 第7章 植物の環境応答 1. 植物の環境応答と植物ホルモン 2. 植物の環境応答とそのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 植物の体制の特徴について知る。 被子植物の重複受精について知る。 花の形態形成とABCモデルについて知る。 植物ホルモンの働きについて知る。 光周性について知る。 長日植物と短日植物の限界暗期について知る。 		
	11	第8章 動物の反応と行動 1. 刺激の受容と反応 2. 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> 受容器と効果器について知る。 耳、目の構造と音、光の受容について知る。 活動電位の発生するしくみについて知る。 筋収縮とそのしくみについて知る。 生得的な行動、学習による行動を知る。 		
	12	第9章 個体群と生物群集 1. 個体群 2. 生物群集	<ul style="list-style-type: none"> 個体群の成長と成長曲線について知る。 密度効果と相変異、最終収量一定の法則について知る。 生存曲線について知る。 資源の利用について知る。 中規模攪乱仮説について知る。 		
3 学期	1	第10章 生態系 1. 生態系の物質生産 2. 生態系と生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 陸上には気候に応じて様々な植生が存在していることを知り、その植生が不変でないことを知る。 火山噴火後の裸地から草原を経て森林に至る遷移のモデル的過程を知る。 植生の変化に伴い、環境も変化していくことを知る。 	36	
	2	第11章 生物の進化 1. 進化のしくみ 2. 生物の起源と生物の変遷 第12章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統	<ul style="list-style-type: none"> 進化の証拠 遺伝子頻度と遺伝子プール ハーディー・ワインベルグの法則 遺伝的浮動 地球関係の変遷と地質時代 人類の進化 		
	3	2. 生物の系統関係	<ul style="list-style-type: none"> 生物の分類階級(界～種) リンネの二名法 系統樹 五界説 ドメイン 		
評価 の観点	①定期考査 ②授業への取り組み ③提出物 ④小テスト 以上の成績・内容を総合的に判断して評価する。				

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 3 学 年	体 育 (男 子)	2単位	70時間

(○)必修科目 ()に○をつけてください

()必修選択科目

()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・測定 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 1500m走 立ち幅跳び ハンドボール投げ 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・水 泳 各種泳法の基本 長時間泳 タイム測定 ・多種目(選択) 生涯スポーツに向けた取り組み リーダーシップ養成授業 <input type="checkbox"/> 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・多種目(選択) 生涯スポーツに向けた取り組み リーダーシップ養成授業 	

評 価 の 観 点
卒業後に余暇の時間を利用して、各自がスポーツを楽しむ基本的な技術・ルールの修得ができたか。

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 3 学 年	体 育 (女 子)	2単位	70時間

(○)必修科目 ()に○をつけてください

()必修選択科目

()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・測定 握力 上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 1500m走 立ち幅跳び ハンドボール投げ 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・水 泳 各種泳法の基本 長時間泳 タイム測定 ・多種目(選択) 生涯スポーツに向けた取り組み リーダーシップ養成授業 <input type="checkbox"/> 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・多種目(選択) 生涯スポーツに向けた取り組み リーダーシップ養成授業 	

評 価 の 観 点
卒業後に余暇の時間を利用して、各自がスポーツを楽しむ基本的な技術・ルールの修得ができたか。

学 年	科 目 名	単 位 数	時 間 数
第 3 学 年	選 択 体 育	2単位	70時間

(○)必修科目 ()に○をつけてください

()必修選択科目

()自由選択科目

期	進 度 予 定 及 び 実 施 内 容	備 考
1 学 期	基礎体力の向上 持久力・30分間走 ・インターバルトレーニング 球技	
2 学 期	基礎体力の向上 持久力・30分間走 ・インターバルトレーニング 球技	
3 学 期	基礎体力の向上 持久力・30分間走 ・インターバルトレーニング 球技	

評 価 の 観 点
卒業後に余暇の時間を利用して、各自がスポーツを楽しむ基本的な技術・ルールの修得ができたか。

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
音楽Ⅲ		2	70	Joy of Music	教育芸術社
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「音楽Ⅲ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	キーボード演奏の基礎 子供の歌		悪いクセをつけないために指使いを守らせる	
	5	バイエル他 コード伴奏の基礎		実力に応じて伴奏を工夫させる コードネームを理解し実力に応じた伴奏 が出来るようにさせる	
	6	合唱 音を取る能力をより高められる選曲 をする		グループを作り、テストでハモリができて いるか確認する	
	7				
2 学期	9	1学期の基礎をもとに自由曲を発表する		楽譜に忠実に演奏できるように	
	10	幼児教育にも役立つ移調の仕方を 知り実践する		鍵盤を数えていくやりかたで難しくなく 出来るようにさせる	
	11	簡単な曲の弾き語り		自分の声域に合わせてできるように	
	12	合唱			
3 学期	1	1年間のまとめ		将来も音楽に親しんでいくために どんな取り組みがあるかを考える	
	2				
	3				
評価 の観点	・授業への参加状況(出席、意欲)・実技能力の向上 ・提出物・小テスト等				

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所	
美術Ⅲ		2単位	70	美術Ⅲ	日本文教出版	
教科担当者名						
足立嘉之						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容 【年間授業計画】		科目「美術Ⅲ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学期	4	導入・オリエンテーション 演習1・鉛筆デッサン「折鶴を描く」		実技演習		
	5	課題1・色彩構成「タレントのイメージ」		アイデアスケッチ		
	6	課題2・平面構成「昆虫を題材とした平面構成」		作品提出 自己評価		
	7					
2 学期	9	演習4・工芸制作「パズルの制作」 様々な技法による表現の多様性をめざす		実技演習		26
	10	課題3・自由制作(材料・技法・自由) 写生 抽象画・構成画 デザイン・工芸・立体		アイデアスケッチ		
	11			作品提出		
	12			自己評価		
3 学期	1	鑑賞1・コラージュによる現代美術作品を見る。 課題4・コラージュで表現する。		実技演習		18
	2			アイデアスケッチ		
	3			作品提出 自己評価		
評価 の観点	・授業への参加状況 (出席、授業態度等)		・実技および演習 各課題ごとに評価の観点を示す		・提出物 プリント、制作計画、アイデアスケッチなども含む	
	・鑑賞 以上から総合的に評価する。					

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
書道B(Ⅰ)		2	70	書Ⅰ	光村図書
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「書道Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	一、はじめに 1. 書写から書道へ 2. 姿勢と執筆法に注意しよう 3. 用具、用材を選択しよう		○副教材「高校硬筆の練習」を使用し、進める。 ○さまざまな書写用具について知識を持たせる。 ○姿勢・執筆法を確認させる。 ○楷書の基本点画・筆順・部首・部分と文字の構成を考え、美しく書くことに習熟させる。 ○漢字と仮名の調和の基本を身に付ける。	
	5	二、漢字の書に親しもう 1. 書体の移り変わり 2. 楷書の古典を学ぼう			
	6	四、漢字仮名交じりの書に親しもう			
	7				
2 学期	9	二、行書の古典を学ぼう		○読みやすく、速書きしやすい書体である行書の基本を学ぶ。 ○行書の特徴を理解させる。 ○仮名の書の成立について知識を持たせる。 ○楷書や行書に調和する平仮名の特徴をつかませ、練習を重ね、身に付ける。 ○生活の中のさまざまな書式に触れ習得する。	
	10	三、仮名の書に親しもう 1. 仮名の成立 2. 仮名の基本を学ぼう 3. 仮名の古典を学ぼう			
	11	五、生活の中の書			
	12				
3 学期	1	四、 2. 創作しよう		○硬筆用具を使い、創作作品を仕上げ、一年のまとめとする。	
	2				
	3				
評価 の観点	課題作品と平常の学習活動を総合的に判断して評価する。				

科目名		単位数	時間数	教科書名	発行所
書道Ⅲ		2	70	書Ⅲ	光村図書
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容 【年間授業計画】		科目「書道Ⅲ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	一、鑑賞の切り口 書論 漢字の書を探究しよう 漢字の書の多様性を楽しむ 中国・日本書道史略年表		○書論の重要性を理解させる ○書論をもとにした鑑賞の切り口を捉えさせる ○漢字の書の多様性を理解させ、書き手の感性や美意識・創造力を理解させる。 ○篆書から楷書まで、多彩な表現を感じ取らせる。 ○鑑賞・臨書を通して特徴を理解させる。	
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	二、仮名の書を探究しよう 三、漢字仮名交じりの書を探究しよう 生活の中の書 自分の表現を求めて		○仮名の書の多様性を感じ取らせる。 ○鑑賞の臨書を通して、特徴や表現技法を理解させる。 ○漢字仮名交じりの書の作品から、筆者の表現意図を感じ取らせる。 ○感動が言葉を生み、表現へとつながることを理解させる。	
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	未来への決意を書こう		○未来への決意を表現させる。	
	2				
	3				
評価 の観点	課題作品の評価と学習活動を総合的に判断して評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
コミュニケーション英語Ⅱ		2	60	LANDMARK Fit English CommunicationⅡ	啓林館	
教科担当者名						
星						
学期月	進度予定及び実施内容			備考		
	単元	節、項目など		留意点など		
	指導内容 【年間授業計画】			具体的な指導目標 【年間授業計画】		
1 学 期	5	使用する副教材 ・SKYWARD Ocean (桐原書店), ・Scramble 英文法・語法 (旺文社), ・大学入学共通テストListening (美誠社)		<ul style="list-style-type: none"> ・各Unit毎に、英文の読み方のコツをつかみながら様々なジャンルの背景知識を深め、読解能力を高める。 ・語法や構文を覚えるために参考書と問題集を自学させ、定着度を確認するため毎時間小テストを行う。 ・重要例文や諺を毎時間暗唱させ、それをDictationのテストとすることで英語の表現力を高める。 ・毎時間リスニング教材を活用しリスニングの基礎力の定着から段階的に応用力まで養成する。 		24
	6	Unit 1~9				
	7					
2 学 期	9	Unit 10~20		<ul style="list-style-type: none"> ・各Unit毎に、英文の読み方のコツをつかみながら様々なジャンルの背景知識を深め、読解能力を高める。 ・語法や構文を覚えるために参考書と問題集を自学させ、定着度を確認するため毎時間小テストを行う。 ・重要例文や諺を毎時間暗唱させ、それをDictationのテストとすることで英語の表現力を高める。 ・毎時間リスニング教材を活用しリスニングの基礎力の定着から段階的に応用力まで養成する。 		36
	10					
	11					
	12					
3 学 期	1					
	2					
	3					
評価 の 観	4回の定期考査の結果と小テスト、平常の学習活動から総合的に評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
コミュニケーション英語Ⅲ		4	120	LANDMARK Fit Communication English Ⅲ	啓林館
教科担当名					
高野、星、内田					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	具体的な指導目標 【年間授業計画】
1 学期	4	Lesson 1 Emperor Penguins <題材内容> ・ファーストペンギンについて理解する。 ・コウテイペンギンの特徴について書く。		<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項としては、分詞、不定詞、動名詞、関係詞、比較、仮定法の用法を中心に、問題演習を行いながら内容を定着させる。 ・コミュニケーション力の向上としては、ペアワーク・グループワークにより 英語の表現力を高める。 ・速読により英文処理能力を向上させる。 	48
	5	Lesson 2 Caffeine <題材内容> ・カフェインの日常的な使用と効果、文化の関わりを理解する。 ・カフェインによる健康被害の可能性について理解する。			
	6	Lesson 3 Blood Is Blood <題材内容> ・当時の黒人差別の実態を理解する。 ・ドルーが発見した輸血方法について理解する。 ・黒人差別と闘うドルーの主張を理解する。			
	7	Lesson 4 Biomimetics <題材内容> ・バイオミメティクスとは何か理解する。 ・新幹線に応用されたバイオミメティクスを理解する。			
2 学期	9	Lesson 5 Communication without Words <題材内容> ・コミュニケーションの7割をボディ・ランゲージが占めることを理解する。 ・ボディ・ランゲージは国や文化によって違うことを理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項としては、分詞、不定詞、動名詞、関係詞、比較、仮定法の用法を中心に、問題演習を行いながら内容を定着させる。 ・コミュニケーション力の向上としては、ペアワーク・グループワークにより 英語の表現力を高める。 ・速読により英文処理能力を向上させる。 	72
	10	Lesson 6 Christmas Truce <題材内容> ・第一次世界大戦下の英・独の戦闘の様子を理解する。 ・クリスマスイブを祝う両軍の様子を理解する。 ・クリスマス期間の停戦と両軍の交流を理解する。			
	11	Lesson 7 Political Correctness <題材内容> ・差別や偏見のない用語の使用が推奨されていることを理解する。 ・だれにも不快感を与えない用語を使うことの難しさについて理解する。			
	12	Lesson 8 Global Water Crisis <題材内容>			
3 学期	1	Lesson 9 Animal Math <題材内容> ・動物には生来、数学的な能力が備わっていることを理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項としては、分詞、不定詞、動名詞、関係詞、比較、仮定法の用法を中心に、問題演習を行いながら内容を定着させる。 ・コミュニケーション力の向上としては、ペアワーク・グループワークにより 英語の表現力を高める。 	5
	2				
	3				
評価の観点	定期考査・小テストの得点及びワークブック等課題の提出や平常の学習活動を総合的に評価する。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
英語表現 I		2	60	Vivid English Expression I New Edition	第一学習者
学期月	進度予定及び実施内容			備考	
	単元			留意点など	
	指導内容 【年間授業計画】			具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期		●Pair & Share 1 (いいずな書店) Lesson 1 ~ Lesson 18 ●Dictation No.1~10 ●Recitation ●Activity 動詞カルタ、諺カルタなど ●Active reading			24
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	●Pair & Share 1 (いいずな書店) Lesson 19~20 ●Pair & Share 2 (いいずな書店) Lesson 1 ~Lesson 16 ●Dictation No.11~22 ●Recitation ●Activity 動詞カルタ、諺カルタなど ●Active reading			
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	●Pair & Share 2 (いいずな書店) Lesson 19~20 ●Dictation ●Recitation ●Activity 動詞カルタ、諺カルタなど ●Active reading			36
	2				
	3				
評価 の観点	授業中の取り組み、Dictation、Show and Tell、Speech、Recitation、Speaking Test、提出物などを 総合的に判断し、評価する				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所
フードデザイン		2	60	フードデザイン	教育図書
教科担当者名					
小口 里歩					
学期	月	進度予定及び実施内容		備考	
		単元	節、項目など	留意点など	
		指導内容「フードデザイン」 【年間授業計画】		科目『フードデザイン』の具体的な指導目標 【年間授業計画】	
1 学期	4	第1章 健康と食生活 1. 食事の意義と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって食べることの重要性、栄養をどのように取り入れ、活用されていくかを把握させる。 ・各種栄養素の特徴と体内ではたらきについて理解させる。 ・だし、味覚効果、料理の触感や温度、素材の持ち味等おいしさに関わる要素を理解し、調理に生かせる。 ・乳・乳製品、卵、砂糖、について調理実験を通じて特性を理解することができる。 ・家族・友人等集団での食事を共にすることの意義を再確認し、実践する。 ・調理器具の基本的な切り方と用途に応じた扱い方を実践する。 ・和風、洋風、中国風等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解し実践する。 ・家族、自分自身の食生活を見直し、課題を見つけ夏季休業中を利用してレポートを作成する。 	26	
	5	第2章 栄養素・食品の特徴 1. 栄養素の働き 2. 健康に必要な栄養素			
	6	3. 食品の特徴 ①牛乳・乳製品 ②卵 ④寒天・ゼラチン 5. 食品の選択と取り扱い			
	7	第3章 調理と献立 1. 調理の基本 4. 様式別の献立と調理・食卓作法 ①日本料理			
2 学期	9	第4章 調理実習 日常食・和風献立	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食品の栄養的特徴、調理上の性質や加工品を理解し、食事計画や調理に生かせる。 ・食中毒や衛生についての知識を深め、衛生と安全に配慮した調理ができる。 ・冷凍食品、レトルト食品、調理済惣菜等様々な食品の現状を知り、それらをどのように各自の食生活にとり入れていくかを考える。 ・栄養バランス、年齢、性、身体活動レベル、目的を考慮した食事の献立について要点が理解でき、用途に適した献立が作成できる。 ・行事食を作る意義と調理法を理解でき、実践できる。 	26	
	10	第3章 調理と献立 2. ライフステージと食事計画 3. 献立作成 4. 様式別の献立と調理・食卓作法 ②西洋料理 ③中国料理			
	11	6. テーブルコーディネート 第4章 調理実習 日常食・洋風献立 日常食・中国料理 自由献立			
	12	行事食・正月料理			
3 学期	1	第3章 調理と献立 6. テーブルコーディネート 第4章 調理実習 菓子	<ul style="list-style-type: none"> ・菓子作りの基本を知り、実践することができる。 	2	
	2				
	3				
評価の観点	定期考査・課題提出・出席状況・授業態度等を総合的に評価する。 * 1クラス2展開授業のため、前後半で内容が入り替わる。				

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所	
子どもの発達と保育		2	54	子どもの発達と保育	実教出版	
教科担当者名						
野村 知世						
学期	月	進度予定及び実施内容		備考		
		単元	節、項目など	留意点など		
		指導内容「子どもの発達と保育」 【年間授業計画】		科目『子どもの発達と保育』の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数
1 学 期	4	4章 子どもの保育 1. 保育の意義と重要性 3. 保育の方法	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの保育に対する関心と課題意識を高める。 子どもの心の育ちを考えて、親の子どもへのかかわり方を知らせる。 保育実習において安全に配慮して子どもと適切に関わる方法を知る。 		26	
	5	1章 子どもの発達の特性 1. 発達と乳幼児期の意義 2. 発達と保育環境 3. 児童観と発達観	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の子どもの関心を持ち、乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組ませる。 子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について考えさせる。 児童観と発達観の歴史的経緯を知らせる。 			
	6	保育実習	<ul style="list-style-type: none"> 保育実習において安全に配慮し、子どもと適切にかかわっている。 			
	7					
2 学 期	9	2章 子どもの発達過程 1. 子どもの発育 2. 子どもの精神発達 3. 人間関係の発達	<ul style="list-style-type: none"> 胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高める。 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を 子どもの精神発達の特徴と発達の経過について理解している。 		26	
	10	3章 子どもの生活 1. 生活と養護 2. 子どもの遊び 3. 生活習慣の形成 4. 健康管理と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作する。 愛着関係形成のためには、どのような関わり方がよいか考えさせる。 子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解させる。 子どもの食生活や衣生活に関する知識を身につける。 幼児の食事の特徴をふまえ、簡単な子どものおやつを作る。 子どもの安全と快適さという視点から必要な育児用品がわかる。 子どもにとって遊びの意義がわかる。 子どもの主体性を育てる遊びの援助について考えている 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深める。 子どもにおこりやすい事故を予測し、対策を考えさせる 			
	11	5章 子どもの福祉 1. 子どもの福祉				
	12	保育実習				
3 学 期	1	5章 子どもの福祉 2. 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉のための制度を知る。 児童虐待の現状と対策について自分なりに考えさせる。 子育ての現状をふまえて、子どもの幸せとは何かを考え、これからの子育て支援を考える。 		2	
	2					
	3					
評価の観点	定期考査・課題提出・出席状況・授業態度等を総合的に評価する。					

科目名		単位数	年間時間数	教科書名	発行所		
情報産業と社会		2	70	情報産業と社会	実教出版		
教科担当者名							
緒方							
学期	月	進度予定及び実施内容		備考			
		単元	節、項目など	留意点など			
		指導内容「情報産業と社会」 【年間授業計画】		科目「情報産業と社会」の具体的な指導目標 【年間授業計画】		予定時数	
1 学期	4	○情報技術の活用(ハードウェア) 五大機能、コンピュータと周辺機器 ○技術者倫理(情報産業の課題)		パーソナルコンピュータを事例にコンピュータのしくみについて理解する。 インターフェースの種類と性能を理解し、適切に理解、判断できる。 情報産業、産業社会と課題を把握し、技術者の役割と倫理感を学ぶ。 情報社会の問題点を事例学習し、環境問題について考察する。			26
	5	○情報技術の活用(ソフトウェア) タイピング練習 文書作成ソフトウェア 進路とプレゼンテーション		タイピングスキルの向上を図る 文書作成ソフトウェアの操作法を理解、実践する。(文書作成～差し込み印刷)			
	6	○情報技術の活用(ソフトウェア) タイピング練習 表計算ソフトウェア プレゼンテーションソフトウェア		進路を題目にプレゼンテーションソフトウェアを用いた資料の作成を実践す タイピングスキルの向上を図る 表計算ソフトウェアの操作法を理解、実践する。(複数の関数をあわせた処理)			
	7	○情報技術の活用(ソフトウェア) タイピング練習 文書作成ソフトウェアと表計算ソフトウェア プレゼンテーションソフトウェア		著作物に関わる法規を学び、調べ学習レポートをスライドで作成する。 タイピングスキルの向上を図る オフィス系ソフトウェアを統合し、レポートを作成する。 プレゼンテーションソフトウェアを用いた発表を実践する。			
2 学期	9	○情報技術の活用 プログラム言語の種類、プログラム言語(BASIC言語) ○情報産業と法規 知的財産権、産業財産権、労働基準法		プログラム言語の種類 プログラム言語(BASIC言語) 知的財産にかかわる法規 情報産業にかかわる法規		26	
	10	○情報技術の活用 プログラム学習(BASIC言語) ○情報産業と法規 労働基準法と労働者の権利 情報産業の仕事		プログラミング実習(BASIC言語) フローチャート 入力・出力、演算、IF～THEN、ループ構造、ルーチン 知的財産にかかわる法規 情報産業にかかわる法規			
	11	○総合実習 画像処理ソフトウェアと動画処理ソフトウェア		画像処理 映像作成ソフトウェアの操作			
	12	○総合実習 画像処理ソフトウェアと動画処理ソフトウェア		画像処理 映像作成ソフトウェアの操作 発表			
3 学期	1						
	2						
	3						
評価 の観点	実習点(作品点・レポート点)、平常の学習活動について総合的に判断して評価する。						